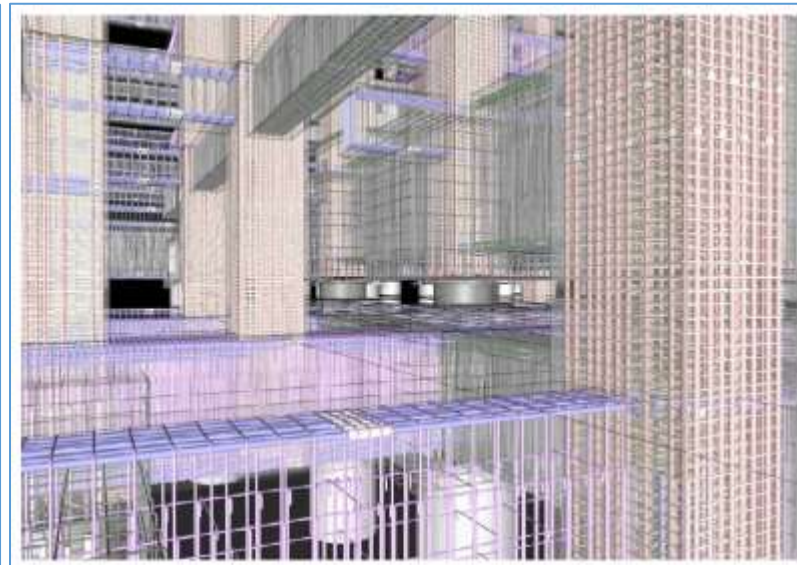
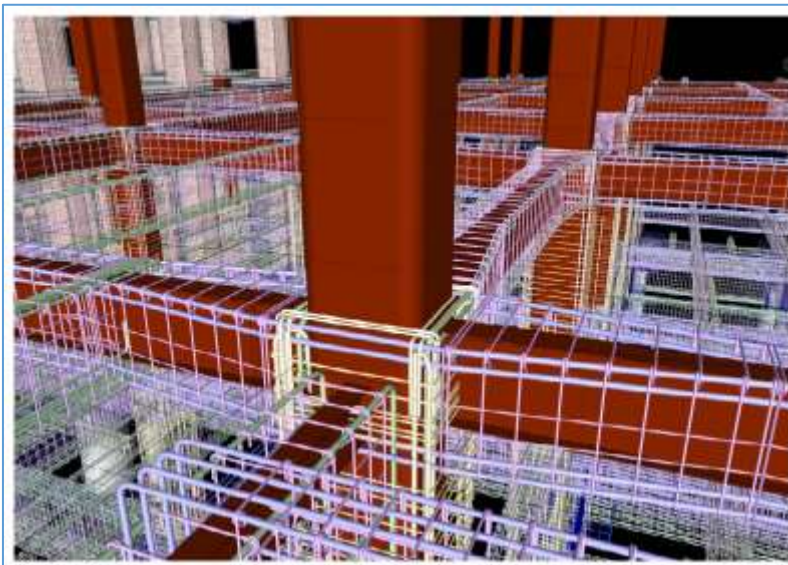
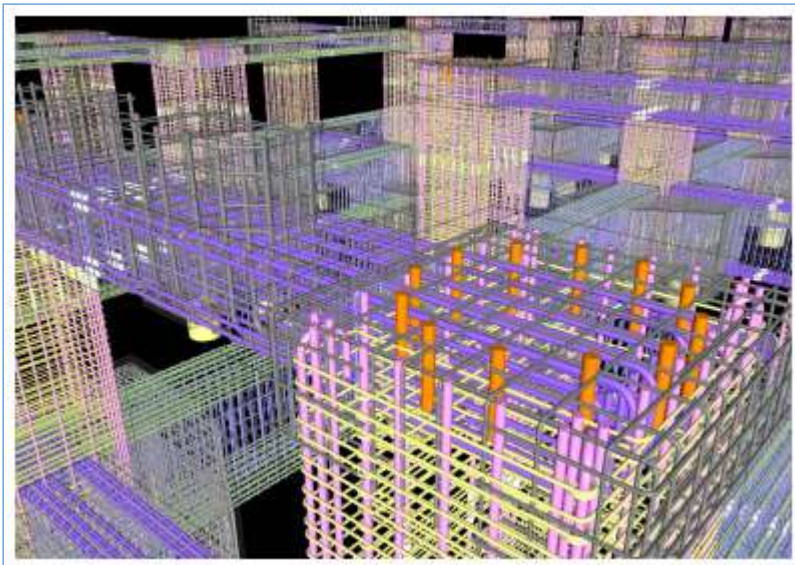


働き方改革・2024物流問題へ挑戦するパートナーシップ構築



2025年3月13日

デーバー加工サービス株式会社

代表取締役社長 相場康雄



DEBAR
PROCESSING
SERVICE

デーパー加工サービス 会社概要



DEBAR
PROCESSING
SERVICE

事業内容 鉄筋加工運搬ファウンドリ

本社 東京都中央区日本橋小伝馬町

工場 埼玉県東松山市・群馬県安中市

資本金 9,975万円

従業員 195名

売上高 41億円（2024年度）



DEBAR
PROCESSING
SERVICE

設立 2001年9月

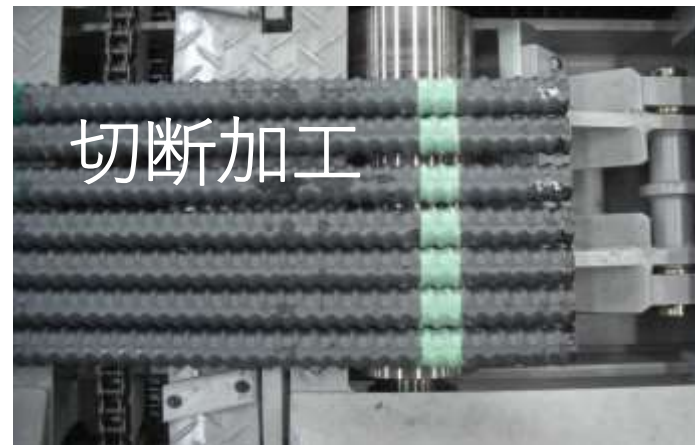
メーカー・商社・鉄筋工事会社 21社出資

鉄筋加工製品 1日600 t 出荷 配車台数50台

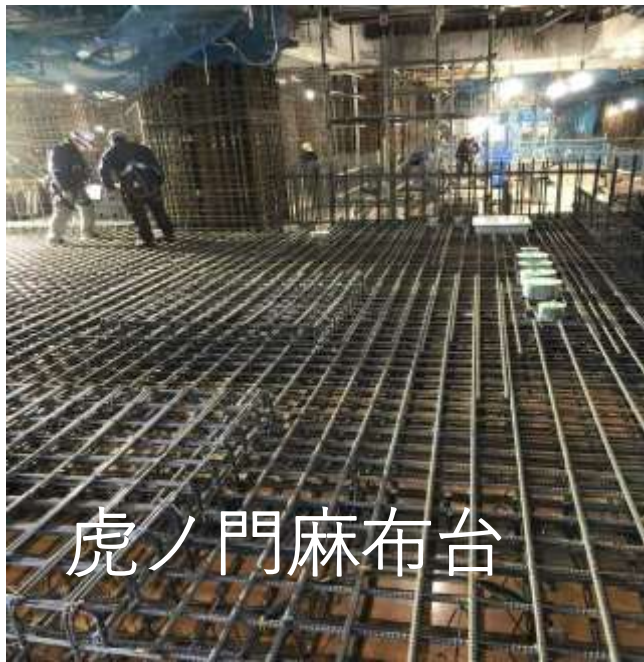
月間15,000 t 出荷 延べ400現場へ供給

首都圏シェア 10%

大型再開発・超高層物件 多数



DEBAR
PROCESSING
SERVICE



虎ノ門麻布台



八重洲1丁目東



月島3丁目北地区A



品川北4街区



晴海フラッグ5-5街区



DEBAR
PROCESSING
SERVICE



虎ノ門麻布台



八重洲1丁目東



月島3丁目北地区A



品川北4街区



晴海フラッグ5-5街区



DEBAR
PROCESSING
SERVICE

長期成長ビジョン



DEBAR
PROCESSING
SERVICE

- ・工場新設による労働環境整備と計画的賃上げによる高い待遇の実現
- ・自動化・IOT設備導入による生産性・品質向上
- ・慢性的な建設業界の人手不足解消に貢献する省力化工法（先組・PC工法）への取り組み



DEBAR
PROCESSING
SERVICE

働き方改革関連法・物流2024問題 により直面した課題



DEBAR
PROCESSING
SERVICE

直面した課題とは・・・

- ・ 注文の順守率が57%と低く、加工の平準化が出来ない
- ・ 緊急対応をする為に、残業時間が増えてしまう
- ・ デーバー加工の仕事をやりたがらないドライバーが出始め、取引先運送会社から積み込み環境の改善要請が入る！
- ・ 現場へ納めるトラックが集まりづらくなる



DEBAR
PROCESSING
SERVICE

2023年当時の加工注文状況と運送状況

2023年6月	加工帳注文内容	注文件数	%
当日	短納期注文	34	43%
前日		247	
中1日		405	
中2日		950	
中3日		1,234	
中4日	通常注文	2,664	57%
中5日以上		1,115	
合計		6,649	100%

- 「社内改善委員会発足時（2023/6）の加工注文状況」
- ・ 中4日ルール順守率57% → 注文の43%が緊急注文
 - ・ 特に中2日以下の緊急注文は段取り替え等が発生し、生産管理・資材・配車・運送会社のすべてに悪影響
 - ・ 事務所、製造部、運送部は、緊急注文をさばく為の異常な残業が常態化していた
 - ・ 短納期対応コストはほぼ工場持ちで、客先負担なし
 - ・ 短納期注文が常態化した

ドライバー拘束平均時間（自社便12台）		
2023年平均	月24日稼働合計	1日平均
月間拘束時間	310時間	12.9時間

ドライバー離職率（離職者数/現ドライバー数×100）		
2023年度通期	6/13名が退社	46%

トラック1車当たり平均積み込み時間（自社便12台）		
2023年平均	2時間34分	目標は2時間切り

「2023年の運送状況について」

- ・ ドライバー拘束時間は1日平均12.9時間
- ・ 工場での積み込み待機時間は1車平均2時間34分
- ・ 年間離職率は46% 2人に1人が辞めて行く状態
- ・ 長時間労働が慢性化し、残業上限を超える月が続く
- ・ 物流2024開始でドライバーの乗務制限が避けられない状態

危機意識！

物流2024年問題に対応しないと製品を現場に届けられなくなる！

会社設立以来変える事の無かった ルール変更への挑戦



DEBAR
PROCESSING
SERVICE

2023年6月 社内改善委員会設置



- ・毎週木曜日に関係者全員が集合
- ・課題抽出・役割分担・情報共有
- ・社内縦割りから横断的な話し合いが可能に

- 『参加メンバー』
- ・工場長・副工場長・本社経営企画
 - ・営業部・資材部・生産管理情報処理
 - ・製造部・物流部 社内の全部署参加

- ・加工帳 中4日ルールの遵守率57%と低く43%が緊急注文
- ・加工日に余裕がなく生産の平準化が図れない

- ・注文ルールを中5日へ厳しく変更
- ・短納期注文は納期先伸ばし交渉
- ・加工積込の余裕日1日確保が可能に

- ・我々の本気度をお客さんにどのように伝え、理解と協力を得られるか？
- ・エンドユーザーであるゼネコンへ早期の図面提出要請を真剣にやってもらえるか？

- ・取引先への説明・説得を毎月継続
- ・全現場別データを開示
- ・短納期常連現場担当者リストを報告

お客様からのご理解と、グループあげてのバックアップ体制

- ・ 全顧客に対し、物流2024問題の問題点を何度も説明
 - ・ 短納期注文は工場の負担増となり納期通りに製品が入らなくなるとの意識づけを行った
 - ・ 大株主顧客から率先的な理解・協力姿勢の取り付けに成功
-
- ・ お客様内部でも現場担当者を集め、周知会を実施
 - ・ 現場担当者からは反対意見も出るが、次第に協力体制へ変化
-
- ・ グループ取締役への毎月の進捗報告（経営会議・ND会議）
 - ・ 工場任せにしない全社をあげた取り組み姿勢の醸成
-
- 『その結果・・・』
- ・ 中5日注文標準化 2024年1月より試験導入開始！
 - ・ 試運転期間を経て、2024年4月より新ルール本格稼働開始！



DEBAR
PROCESSING
SERVICE

注文中5日体制へ移行後 どのような変化が起こったか？

注文件数	2023年6月		2024年6月	
当日	34	短納期注文	12	短納期注文
前日	247	43%	127	18%
中1日	405		161	
中2日	950		161	
中3日	1,234		263	
中4日	2,664		通常注文	
中5日以上	1,115	57%	4,679	通常 82%
合計	6,649		5,699	

「社内改善委員会 1年間の活動結果 注文編」

- ・ 中5日以上の通常注文が8割超え。劇的な改善。
- ・ 無理な注文は受付時点で丁寧に納期変更交渉実施
- ・ お客さんに毎月現場職長別データを提出（見える化）
- ・ 短納期対応コストは一部お客様へ請求が可能に

ドライバー拘束時間	2023年平均	2024年12月
月間（24日換算）	310時間	280時間
1日平均	12.9時間	11.7時間

ドライバー離職率（離職者数/現ドライバー数×100）		
2023年平均	物流2024目前	46%
2025年現在	働き方改革導入後	6%

トラック1車当たり平均積み込み時間		
2023年平均	物流2024目前	2時間34分
2025年現在	働き方改革導入後	1時間44分

「社内改善委員会 1年間の活動結果 物流編」

- ・ ドライバーの拘束時間は月間30時間短縮
- ・ 1台当たりの積み込み平均1日50分短縮
加工待ちがほぼなくなったことが好影響
- ・ ドライバーの離職率は6%まで改善
- ・ 外部の運送業者から良い評判が聞こえてくるまで改善
- ・ 拘束時間・残業時間ともに上限時間内で納まっている

物流2024対策

社内+物流仕入先+顧客各社の危機意識共有が大きな成果に繋がった

協力会社との約束 パートナーシップ構築宣言へ



DEBAR
PROCESSING
SERVICE

共存共栄を目指し、何をやるべきかを話し合った結果・・・

- ・ 物件情報・加工運搬情報の共有化のために、運送3社との毎朝の合同ミーティング継続（運送シェア70%超）
- ・ 協力会社経営者と話し合う場の設定
- ・ 販売運搬単価見直しを全顧客へ要請
- ・ 協力会社の仕入れ運搬単価を率先見直し
- ・ 新人採用・教育に関するの情報交換・サポート

パートナーシップ構築宣言！

2024年4月5日



DEBAR
PROCESSING
SERVICE

今後の取り組みについて、注力して行くポイント

- ・大規模賃上げ（+5%×3ヵ年）による社員全員の待遇改善
- ・労働環境改善の為の新工場建設と働きやすい職場作り
- ・最新鋭機種（自動化・IOT化）導入による生産性・品質向上
- ・働き方改革に伴うコスト増加分の価格転嫁の継続努力



DEBAR
PROCESSING
SERVICE

ご清聴、ありがとうございました！
デーパー加工サービス株式会社



DEBAR
PROCESSING
SERVICE